



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第144号

- 発行 北海道幌延町議会
- 編集 議会報編集委員会
- 電話 01632-5-1111
- FAX 01632-5-2971

主な内容

一般質問	6～7
第4回幌延町議会定例会	8
第3回幌延町議会臨時会	8～9
町内行政視察	9
北留萌消防組合議会	9～10
西天北五町議会	10
第4回まちづくり常任委員会	10
全道議員研修会	10
管内議員研修会	10～11
北海道町村議会議長会表彰	11
議会の動き	11
編集後記	11



2氏が質問

一般質問 第4回定例会（6月16日）

地域の課題をとらえて

■ 深澤 博幸
■ 齋賀 弘孝



深澤 博幸

・多世代交流施設整備事業の一時中止について

令和5年に交流拠点基本構想策定委員会を設置し、令和10年度オープン予定で進めてきた。

今年3月定例会執行方針や4月号ほろのべの窓で突然の一時中止発表がされた。財政シミュレーションや物価高騰などが原因らしいが、次の質問をいたします。

【質問】事業の目的は。

【町長】平成26年度から検討。観光・防災・レジャーなどの機能を併せ持つ複合施設の整備を進め、その後、令和4年度に、町民の利便性向上につながる機能やサービスを重視。温浴施設などの更新を要する機能を併せ持った複合的な多世代交流拠点を整備することに決定。

【質問】諮問委員は何名で経費、答申内容は。

【町長】委員は20名。令和5・6年度合わせて経費は報酬、費用弁償、会場使用料

含めて31万4900円。意見は171件。

答申は、おおむね適正と認められ、誰もが使いやすい施設であり、町民の意見を聞くこと各種補助金活用による自主財源の削減、期間の短縮による早期着手するなどの意見が付され、7年度で本施設に係る業務の一時凍結に至り、会議の開催は年2回程度。

【質問】整備中止を決定した判断の時期は。

【町長】基本計画の樹立に取り組んできたが、建設単価の上昇により町の財政状況を推計した結果、町の財政収支を圧迫する見通しとなり、まずは教育環境を整えるため、同時期に予定である小中一貫校事業を優先して行うこととした。

結果報告は令和8年第2回議会定例会における行政報告、広報誌、町内会長会